



女子美術大学 女子美術大学短期大学部



取り組み

本学は、南相馬市と杉並区と三者で「子ども文化芸術交流事業に関する協定」を締結しています。この協定に沿って、南相馬市、杉並区及び関連する自治体の子どもたちの文化芸術への創造性を高めるため、市民参加型のワークショップの実施に協力しています。

この事業は、南相馬市で平成29年度から3年間のプロジェクトとして開催されています。

活動内容

南相馬市、杉並区、名寄市、忍野村から18人の子どもたちが集い、本学からは、南島隆教授と学生10名がサポートやアドバイス役で参加しました。

異なった環境で生活する子どもたちが、一丸となって芸術作品の制作に取り組みます。



東北を代表する相馬野馬追からヒントを得て、「レインボーホース」とタイトルした、厚手のダンボールを組み合わせた、ポニー程度の大きさの馬のダンボールアートです。

初めて出会った子どもたちを7つのグループに分けて、それぞれが一頭を作り上げます。緊張しながらコミュニケーションを図り、各自特色を活かした絵柄、イメージ、模様などを構想して協力しました。

6時間にわたって熱心に制作に取り組み、色とりどりの元気あふれる7頭のレインボーホースが完成し、最後に作品発表を行いました。

活動成果

- 全体の講師役を務めた南島教授は、「この体験を通して子どもたちに【表現することを楽しむ心】【友達を大切にすること】【故郷を自慢できる心】をもった人になってほしい。」との感想を述べ、造形表現が子どもたちの成長に与える影響の大きさが伺えました。
- 学生からは、「子どもたちの自由な発想は斬新で、とても面白かった。今回の交流で子どもたちに芸術をより近くに感じ、楽しんでもらえたらうれしい。」との声が聞かれました。
- このような機会をくださった皆様に深く感謝申し上げます。今後も、地域や自治体とコラボレートしながら地域振興や教育・文化の発展プロジェクトを進めていきたいと思っています。



住所：東京都杉並区和田1-49-8
電話：03-5340-4500（代）
URL：<https://www.joshiabi.ac.jp>



取り組み

本学には3学部があり、それぞれの学部の学生が様々なボランティア活動を行っています。このうち人間科学部の長谷川万希子教授のもとでは、「杉並の子どもを身近で支える」「まちづくりに参加する」「ダイバーシティに対応して」という分野で、学生達が区内でボランティア活動を行っています。

活動内容

地元の複数の小学校では、授業時間の学習補助、朝の時間や放課後補習指導の補助。その他プール指導や校外学習の補助なども行っています。

また、児童館のデイキャンプや青少年育成委員会の野外活動にも毎年参加しています。



商店街のお祭りでは、実際に出店を担当することで住民とお店の繋がりなどを体験しました。

また、「安心・安全なまちづくりを目指す」イベントでは、会場設営や来訪者へのお土産の準備など、保護司会と協力してイベント開催に携わりました。

障害者福祉会館まつりでは、ドングリを使った工作ブースでの指導やお手伝い。

また、杉並区交流協会のイベントに参加し、様々な国の方と一緒に、防災訓練や各国料理を楽しむ企画を行いました。



活動成果

- 子ども達に身近で接して支援をする様々な活動は、学生達にとっても大切な自身の学びの場であり、成長の場でもあります。
- 参加した学生からは、地域の活動に参加することで、街の活性化や住民とお店の繋がりなど、教科書ではないリアルな学びを経験できたとの感想がありました。
- 学生からは、障害の有無に関わらず、様々な人が参加できる集いの場は、誰にとっても暮らしやすい街の実現に繋がるとの意見や、様々な国の方々と接するボランティア経験などから、語学が上達したことを活かし、海外で就業予定するなどの意見も聞かれました。



住所：東京都杉並区大宮 2-19-1
電話：03-3313-0146
URL：<https://www.takachiho.jp>



取り組み

大学公認ボランティアサークル「しいの実」は、サークルの学生をグループ分けし、障害者のサポートや児童館で子どもたちと一緒に遊ぶなど、様々なボランティア活動を卒業まで行います。学期毎に活動報告会を行い、他のグループの活動を参考にして、各々活動計画を立てて実行しています。

活動内容

地域の永福南児童館でのボランティア活動を行っているグループは、児童館で卓球やボール遊び、ボードゲームなどを、土曜日の午後を中心に「しいのみあそびランド」として行っています。

永福南児童館が協力している永福小学校のもちつき大会では、綿あめ作りを担当し、小学生の長蛇の列に休みなく対応したり、ゲームの手伝いを生き生きと行っていました。

紹介のグループのほか、堀ノ内南児童館での活動、スポーツクラブでの自閉症の子どもたちとの運動、障害者の方々が作ったパンの和泉キャンパスでの販売など、杉並区、世田谷区を中心に、いろいろなボランティア活動を行っています。



活動成果

- 学生は4年間で卒業となりますが、「しいの実」のサークル活動は次の学生へと引き継がれ、ボランティア先との関係は長年続き、強い信頼関係が結ばれています。
- 児童館等での子どもたちとのふれあいは、地域の子育ての一助になるだけでなく、学生自身が成長していく姿を垣間見ることができます。
- 1年の流れとして、年度のはじめにグループごとに計画を立て、活動し、半期後にその活動について、他のグループも含め一緒に検証、評価し、次期の計画を修正して実行するという活動の進め方は、社会に出てからも活用できる仕事の進め方を体験しているものといえます。



住所：東京都杉並区永福 1-9-1
電話：03-3296-4545（代）
URL：<https://www.meiji.ac.jp>



取り組み

本学の松尾教授のゼミでは、地域住民や自治体と関わり、様々な取組を行っています。今回は、杉並区の事業「すぎなみ大人塾西荻コース」と連携し、地域と一体となって課題の解決や新たな魅力の創出に取り組みました。

学生と地域住民がアイデアを出し合いながら、一体となって地域課題の解決や新たな魅力の創出に取り組んでいます。大学の研究成果を地域に還元するだけでなく、学生自身も地域住民との交流を重ねながら自身の学びを深めています。

活動内容

今回は「西荻というまちを活性化させるために何が出来るか」をテーマとする地域大学の講座で、本学の学生が「多文化共生意識調査結果」のプレゼンテーションを行い、その後、受講生との意見交換、質疑応答を行い、発表者と参加者が活発にコミュニケーションを行いました。



次に今回のテーマに沿った学生考案企画が発表されました。目標、ターゲット、宣伝方法などについて説明し、参加者とアイデアの共有を図りました。

学生発表後、テーマ解決のアイデアを出し合うため、学生、受講生、区民を5つのグループに分けて、グループワークを行いました。



活動成果

- 「西荻の活性化」について意見交換が行われ、学生ならではの視点から考えられたアイデアを反映した意見が参加者から出されました。学生は、若い世代からの意見が求められていることを知り、自らの学びを通して地域に貢献できることが励みになったようでした。
- 受講生から「多文化共生について」理解を深めるきっかけづくりになったなどの感想が多く寄せられ、普段学生がどのような学びを行っているのか、知っていただくことができました。
- 地域からは、多世代で共通したテーマで集い、学生からの発表や学生との意見交換を行えたことは、大変有意義で学生の意見や考えが参考になったとの感想をいただきました。

また学生は、様々な世代の地域の方々からの質問、意見を受け、考え方に触れ、新たな気づきを得ることができました。



住所：東京都杉並区善福寺 2-6-1
電話：03-5382-6340
URL：<https://www.twcu.ac.jp/>



取り組み

妙法寺の千日紅市は、千日紅市 PROJECTとして、妙法寺門前通り商店会が中心となって取り組む「堀ノ内地区」における地域ブランディング基礎事業です。本学は妙法寺門前通り商店会と協定を結んでいる関係で、関わりを続けてきた活動の一つです。主には、本学の科目「地域社会活動」「ボランティア」の授業の履修者から希望者を募り、事前打ち合わせを経て本番を迎えました。

学生の多くは、妙法寺夏のふれあい祭りでもボランティアとして参加しており、今回は2度目の学生も多くおりました。その他、「妙法寺寺子屋」「わい！わい！わだまつり」「セシオン杉並まつり」「こどもフェア」「こどもフェスティバル」「わんぱく相撲」「福祉施設ボランティア」など地域活動を、杉並ボランティアセンター、地域関係団体と連携をしながら幅広く行っております。

活動内容

堀之内妙法寺で11月3日に開催された千日紅市は、地元商店会主催で、企業やボランティアなどが参加する縁日です。様々なイベントが催され、本学の学生と教員がボランティアとして参加しました。活動を充実するために、事前準備で教員が地域の打ち合わせへの参加や学生が事前に現地を下見し、地域の方と打ち合わせをするなどしながら、本番に向け準備をしてきました。

子どもたち参加の写生会では、たくさんの参加者が千日紅の花を観察し、細かいところまでしっかり丁寧に描き、個性に溢れとても素晴らしい作品を完成させていました。ほか、子どもたちが描いた千日紅の花の絵の展示も手伝えました。



ハーバリウムのお店の前で看板を持ち子どもたちに声をかけたり、一緒にハーバリウムを作る手伝いをしていました。

稚児行列の誘導では、子どもたちと一緒に歩き、励まし、晴れの舞台の黒子として千日紅市を盛り上げていました。

活動成果

- 学生からは「この千日紅市を通して、子どもたちと交流しながらとても楽しくボランティア活動をすることができました。また、この縁日由来の千日紅花が、地域や近隣小学校に親しまれていることや、いままで知らなかった地元のお店と出会うなど、地域の新たな一面を知ることでもできました。」という声がありました。
- 地域の方からは「東京立正短大の学生さんが来てくれるととても心強いです。子どもたちが喜ぶレイアウトを考えてくれたり、一緒に活動をしていていたり、いつもとっても頼りにしています！」という声がありました。

学生は参加するまでは不安を抱えていますが、参加すると地域の方の温かさに触れ、「またボランティアに参加してみたい」という声が聞かれることがあります。まさに、地域の方々に活動の場を提供していただき、様々な学びに繋がっているといつも感じます。



住所：東京都杉並区堀ノ内 2-41-15
電話：03-3313-5101
URL：<http://www.tokyorisho.ac.jp>